



注意箇所について

- ・これまで同コースで行われた過去の大会で落車が発生した実績がある箇所等、注意を要すると思われる場所について注意喚起いたします。
- ・この注意喚起に載っていないところは注意の必要がない、ということではありません。レース前のオープンライドの試走機会に自らコースを注意深く確認してください。
- ・ここに記載されていないが、注意を要する場所として選手全員に情報共有が望ましいと思われることがある場合は、日本学生自転車競技連盟事務局までおしらせください。より安全性の高い大会運営にご協力をお願いいたします。

記

地点1 最初の右コーナー

集団後方でコーナー外側で位置すると集団が外に膨れた場合に逃げ場を失い外側フェンスにあたる可能性がある

地点3 往路 横断歩道あり

横断歩道は地上立哨員によりコントロールされているが、万が一の歩行者飛び出しに注意し前方注意を怠らないように特に集団からきれて追い上げ中などは要注意

地点4 Uターン

Uターン後の立ち上がり、集団後方でコーナー外側で位置すると集団が外に膨れた場合に逃げ場を失い外側縁石にあたる可能性がある

地点3 復路 緩い左コーナー

ハイスピードでも通過可能なコーナーではあるが、ペダルを回し続けると左ペダルが地面に接触して落車するおそれがある

地点5 工事中 幅員狭し

工事中で幅員が狭い
工事範囲区画フェンス横を通過するので接触しないように要注意

地点6 Uターン

フィニッシュラインが近いが、慌てないで冷静な走行を
Uターン後の立ち上がり、集団後方でコーナー外側で位置すると集団が外に膨れた場合に逃げ場を失い外側縁石にあたる可能性がある

地点7 Uターン後の直線

フィニッシュラインが近く、スプリント中の落車が心配されること
従来、この部分は日本で最初のアスファルト舗装が残された土木遺産であったが、2020オリパラ開催を契機に歩道に多用されているインターロッキング舗装になった。凸凹があり、下地の砂が浮き出てくることもあって、通常のアスファルト舗装とブレーキ時の制動特性やハンドリング特性が異なるので要注意

その他

低体温に備えて十分に考慮された服装、落車時のケガ軽減や手指の寒さ対策としてグローブの着用を推奨します。

以上

